

す。

最後に、実質収支に関する調書についてご説明を申し上げます。

347ページをお開き願います。左側が一般会計の調書となっております。歳入総額が176億2,225万9,315円、歳出総額が172億909万3,557円、歳入歳出差引額が4億1,316万5,758円、この中に翌年度に繰り越すべき財源といたしまして繰越明許費繰越額、事故繰越し繰越額を合わせまして3,061万5,600円ございますので、実質収支額は3億8,255万158円でございます。

以上が令和元年度長井市一般会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和元年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び令和元年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について。

金子 剛市民課長。

○金子 剛市民課長 おはようございます。

令和元年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要を説明いたします。

歳入歳出決算書の12ページをお開きください。歳入合計では、調定額25億9,725万9,093円に対し、収入済額は前年度対比1.9%増の25億5,681万6,451円で、収入率は98.4%、調定額のうち698万1,852円を不納欠損処分し、収入未済額は3,346万790円になりました。

14ページをお開きください。歳出合計では、予算現額24億6,790万9,000円に対し、支出済額は前年度対比1.9%減の23億1,086万2,849円で、予算執行率は93.6%、不用額は1億5,704万6,151円となりました。

歳入合計の収入済額25億5,681万6,451円から歳出合計の支出済額23億1,086万2,849円を差し引いた残額2億4,595万3,602円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

それでは、事項別明細書により説明いたしま

すので、決算書の265ページをお開きください。歳入から説明申し上げます。

1款国民健康保険税は、調定額5億3,545万4,573円に対し、収入済額は前年度対比5%減の4億9,516万4,216円となっております。調定額のうち698万1,852円を不納欠損処分し、収入未済額は3,330万8,505円となりました。

266ページをお開きください。2款使用料及び手数料の収入済額は、前年度対比5.1%減の28万1,300円となっております。

267ページをお開きください。3款国庫支出金は、2目社会保障・税番号制度システム整備費補助金42万6,000円が皆増となり、3款合計で44万7,000円となります。

4款県支出金の収入済額は16億5,632万2,000円となり、1項県補助金1目、1節普通交付金は16億2,325万5,000円、268ページになりますが、2節特別交付金、保険者努力支援制度分は1,217万円となりました。

5款財産収入の収入済額は、前年度対比30.8%減の2万5,948円となりました。

269ページをお開きください。6款繰入金の収入済額は前年度対比57.9%増の2億4,105万2,920円となり、1項1目1節保険基盤安定繰入金、保険料軽減分が8,014万2,885円、2節保険基盤安定繰入金、保険者支援分が4,552万9,714円などとなりました。

270ページをお開きください。2項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金として9,713万7,000円が皆増となります。

7款繰越金の収入済額は、前年度対比11.1%減の1億5,506万2,888円となりました。

8款諸収入の収入済額は、846万179円となりました。271ページをお開きください。5目雑入では、国民健康保険団体連合会からの返還金として、551万8,551円が新制度移行に伴い皆増となります。

次に、歳出です。272ページをお開きくださ

い。

1 款総務費の支出済額は前年度対比2.9%減の1,645万199円で、不用額は177万5,801円となりました。1 項 1 目一般管理費が3.0%減の1,308万3,133円です。

273ページをお開きください。2 款保険給付費の支出済額は前年度対比4.7%減の15億5,266万2,112円で、不用額は1 億2,901万1,888円となりました。1 項療養諸費は、274ページになりますが、1 目一般被保険者療養給付費が13億3,582万3,160円、2 目退職被保険者等療養給付費が615万2,019円、3 目一般被保険者療養費が1,102万2,846円などとなりました。

2 項高額療養費では、1 目一般被保険者高額療養費が3%減の1 億8,559万6,056円。275ページをお開きください。2 目退職被保険者等高額療養費が244万8,383円などとなります。

4 項出産育児諸費では、出産が10件ありまして、10.3%減の444万1,890円です。276ページをお開きください。5 項葬祭諸費は45件ありまして、32.4%増の225万円です。

3 款国民健康保険事業費納付金の支出済額は、前年度対比12.6%増の6 億9,671万8,823円となりました。1 項医療給付費分は4 億8,956万8,574円、2 項後期高齢者支援金等分は1 億5,292万674円、277ページになりますが、3 項介護納付金分は5,422万9,575円となりました。

278ページをお開きください。6 款保健事業費の支出済額は、3,583万3,565円となりました。1 項特定健康診査等事業費は2,000万6,687円、2 項保健事業費は1,582万6,878円となります。

7 款基金積立金及び、280ページになりますが、8 款公債費の支出はございませんでした。

9 款諸支出金は、919万7,730円となりました。3 目償還金では、国庫支出金等精算償還金716万8,555円が新制度移行に伴い、皆増となります。

10 款予備費からの充用はございません。

次に、令和元年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について説明いたしますので、44ページをお開きください。歳入合計では、調定額3 億5,057万3,628円に対し、収入済額は前年度対比1.7%増の3 億4,800万9,935円で、収入率は99.3%、調定額のうち132万270円を不納欠損処分し、収入未済額は124万3,423円となっています。

45ページをお開きください。歳出合計では、予算現額3 億4,357万1,000円に対し、支出済額は前年度対比1.5%増の3 億4,200万7,945円で、予算執行率は99.5%、不用額は156万3,055円となりました。

歳入合計の収入済額3 億4,800万9,935円から歳出合計の支出済額3 億4,200万7,945円を差し引いた残額600万1,990円を翌年度に繰り越しさせていただきますのでございます。

次に、事項別明細書にて説明いたします。339ページをお開きください。歳入について説明いたします。

1 款後期高齢者医療保険料は、調定額2 億4,497万4,570円に対し、収入済額は前年度対比8.1%増の2 億4,241万877円で、収納率は99%となりました。調定額のうち132万270円を不納欠損処分し、収入未済額は124万3,423円となりました。

2 款使用料及び手数料の収入済額は、5 万7,700円です。

3 款繰入金の収入済額は前年度対比11%減の1 億1 万2,530円で、340ページになりますが、1 目の事務費繰入金が2,059万8,483円、2 目の一般会計繰入金が7,941万4,047円となっています。

4 款繰越金の収入済額は前年度対比6%増の528万4,428円、5 款諸収入の収入済額は24万4,400円となりました。

次に、歳出について説明いたします。

342ページをお開きください。1 款総務費の

支出済額は前年度対比5.4%減の507万4,111円で、不用額は15万6,889円となりました。1項総務管理費の支出済額は45万5,196円で、2項徴収費は461万8,915円となりました。

2款後期高齢者医療広域連合納付金の支出済額は、保険料等負担金が2億4,178万9,315円、保険基盤安定制度負担金が7,941万4,047円、事務費負担金が1,558万4,472円で、合計では前年度対比1.6%増の3億3,678万7,834円となりました。

3款諸支出金の支出済額は14万6,000円となりました。

以上でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いいたします。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和元年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び令和元年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算並びに令和元年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の3件について。

蒲生浩美上下水道課長。

○蒲生浩美上下水道課長 初めに、公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽事業の3特別会計につきましては、令和2年度より公営企業会計に移行したことから、令和2年3月31日をもって出納を閉鎖し、打切り決算を行ってございます。したがって、出納整理期間は存在せず、令和元年度に発生した債権または債務に係る未収金、未払金につきましては、全て令和2年度下水道事業会計へ引継ぎを行ったところでございます。

それでは、令和元年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の18ページをお開き願います。歳入でございますが、収入済額の合計が13億1,936万4,740円で、前年度と比較し1,555万8,108円、1.2%の増でございます。収入未済額の3,712万4,681円は、下水道事業会計に引き継いでござ

います。

19ページをご覧ください。歳出につきましては、支出済額合計は11億2,612万9,279円、前年度と比較し、打切り決算を行ったことに伴い、1億7,717万2,380円、13.6%の減となっております。不用額の中の2億1,800万8,069円を未払金として下水道事業会計に引き継いでおります。

20ページになりますが、歳入歳出差引残額は1億9,323万5,461円となり、こちらを下水道事業会計に引き継ぎさせていただいております。

事項別明細書によりご説明申し上げます。283ページをお開き願います。歳入からご説明申し上げます。

1款1項1目下水道受益者負担金につきましては、収入済額435万3,280円で、前年度対比20.6%の減少でございます。うち現年度分が430万5,990円で、収納率は前年度対比0.7ポイント減の98.1%となっております。また、滞納繰越額のうち、既に時効を迎えております33件、448万7,600円につきましては、公営企業会計移行を機に不納欠損処分とさせていただいたところでございます。

2款1項1目下水道使用料の収入済額は、前年度対比12.4%減の2億8,013万8,882円となりました。うち現年度分は2億7,709万1,506円で、打切り決算に伴い、3月請求分を未収金として下水道事業会計に引き継いだことから、収納率は前年度対比9.7ポイント減の89.3%となっております。これまで同様に、出納整理期間を考慮した場合、99.0%と前年同様の収納率となっております。また、滞納繰越金の中の不納欠損額は31件で、72万5,630円生じております。2目の下水路使用料につきましては、収入済額が59万4,170円。

284ページをお開き願います。3款1項1目下水道事業費国庫補助金の収入済額は、前年度対比4.3%増の2億3,123万1,000円で、4款1

項1目一般会計繰入金につきましては、収入済額5億2,100万円、こちらは前年度対比2%の減となっております。

5款1項1目繰越金につきましては、収入済額50万4,973円でございます。

285ページをご覧ください。6款3項1目雑入につきましては、消費税還付金及び公共下水道管理センター更新工事に伴う撤去品の売払収入、本町街路整備に伴う下水道取付管設置工事に係る県からの損失補償があり、753万9,635円となっております。

7款1項1目下水道事業債につきましては、収入済額2億7,400万円となり、事業費の増加に伴いまして、前年度対比24.7%の増となっております。

287ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款1項公共下水道事業費につきましては、支出済額4億6,334万5,775円で、打切り決算に伴い、未払金が発生していることから、前年度対比26.8%、1億6,971万2,027円の減、予算現額に対する執行率は67.0%となっております。

うち1目公共下水道総務費につきましては、11.9%減の4,387万3,577円で、委託料、負担金等の未払金398万9,850円を下水道事業会計に引き継いでございます。288ページをお開き願います。2目公共下水道事業費につきましては、支出済額3億2,955万9,098円で、前年度対比31%の減となっております。主なものといたしまして、委託料では、公共下水道管理センター改築更新・耐震化工事業務委託料、こちらは前払い金の部分でございますが、1億987万6,000円となっております。完成払いの部分につきましては、未払金として下水道事業会計に引き継いでございます。289ページをご覧ください。工事請負費では、下水道未普及エリアの汚水管路布設工事として五十川袋地区に係る工事と、本町街路整備に伴う桐町成田線取付管設置工事費等で、

22節の補償補填につきましては、袋地区の整備に伴う水道管路の布設替えに係る補償金となっております。公共下水道管理センター改築更新・耐震化工事に係る委託料等の未払金1億9,833万609円は、下水道事業会計に引き継いでございます。3目の管渠管理費につきましては、支出済額1,204万9,076円で、対前年度比33.7%減となっております。主なものといたしまして、マンホールポンプ点検業務委託料、下水道取付管補修工事などの工事請負費でございます。光熱水費、通信運搬費、委託料等の未払金212万8,854円は、下水道事業会計に引き継いでございます。290ページをお開き願います。4目管理センター費につきましては、支出済額7,786万7,244円で、前年度対比11.0%の減となっております。主なものといたしまして、薬品などの消耗品費、処理施設の光熱水費、脱水ケーキ処分委託料、管理センター運転・保守点検業務委託料などがございます。委託料等の未払金1,355万8,756円を下水道事業会計に引き継いでございます。

291ページをご覧ください。2款1項公債費につきましては、支出済額6億6,278万3,504円で、前年度から1.1%減少してございます。

以上が令和元年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、令和元年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

戻っていただきまして、26ページをお開き願いたいと思います。歳入でございます。収入済額合計は1億7,372万6,212円で、前年度と比較し1,893万2,639円、12.2%の増となっております。前年度と比較しまして、国庫補助金、県補助金が皆増となっております。収入未済額605万2,928円を下水道事業会計に引き継いでございます。

27ページをご覧ください。歳出でございます

が、支出済額合計は1億6,627万7,211円で、前年度と比較し1,999万1,981円、7.1%の増となっております。不用額のうち、1,139万8,539円を下水道事業会計に引き継いでございます。

28ページをお開き願います。歳入歳出差引残額は744万9,001円となり、下水道事業会計に引き継ぎさせていただいたところでございます。

事項別明細書によりご説明申し上げます。297ページをお開き願います。歳入でございますが、1款1項分担金につきましては、収入済額15万円、こちらは、今泉地内1件の加入がございました。

2款1項使用料及び手数料につきましては、収入済額は前年度対比13.6%減の4,321万4,869円となりました。うち1目の施設使用料の現年度分は4,286万3,773円で、13.8%の減少でございます。打切り決算に伴い、3月請求分が未収金となったことから、収納率につきましては、前年度対比10.3ポイント減の88.8%となっております。こちら、出納整理期間を考慮した場合は99.0%と、前年度並みの収納率となっております。滞納繰越分のうちの不納欠損は、5件で11万7,185円生じております。

298ページをお開き願います。3款1項国庫補助金と4款1項県補助金は、機能強化対策に係る補助金で皆増しております。

5款1項一般会計繰入金につきましては、収入済額1億496万3,000円、前年度対比4%の増となっております。

6款繰越金につきましては、収入済額50万8,343円となりました。

299ページをご覧ください。7款諸収入は、ございませんでした。

8款市債につきましては、機能強化対策に係る下水道事業債並びに公営企業会計適用債でございます。

300ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款1項農業集落排水事業費につきましては、支出済額6,232万1,605円で、前年度対比26.3%の増加となりました。内訳では、1目農業集落排水事業総務費につきましては11.2%の減、未払金の209万6,800円を下水道事業会計に引き継いだところでございます。301ページをご覧ください。2目の今泉排水施設運営費につきましては11.4%の減、主なものといたしましては、施設の光熱水費、基本運転点検業務や機能強化対策事業全体設計業務等の委託料となっております。委託料や通信運搬費、光熱水費等の未払金656万5,530円を下水道事業会計に引き継いでございます。302ページをお開き願います。3目の大久保排水施設運営費につきましては、168.3%の増加となっております。施設の機能強化診断・調査業務委託料の増加によるものでございます。基本運転点検業務委託料等の未払金273万6,209円を下水道事業会計に引き継いでございます。

2款の公債費につきましては1億395万5,606円で、前年度対比0.9%の減となっております。

以上が令和元年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、令和元年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

40ページにお戻り願います。歳入でございますが、収入済額合計は1億2,322万5,380円で、前年度と比較し2,683万3,089円、27.8%の増となっております。浄化槽の管理基数の増加に伴い、使用料が増加したこと、また、新規の設置基数が前年度と比べて増加していることから、分担金や県支出金が増加しておりますが、国庫補助金につきましては、平成29年度からの年度間調整分が加味され、減少したことから、減少分につきましては市債の増額で対応しているところでございます。収入未済額の55万2,270円

を下水道事業会計に引き継いでございます。

41ページをご覧ください。歳出でございます。支出済額合計は1億1,861万5,033円で、設置基数、管理基数の増加に伴いまして、前年度と比較して2,272万5,454円、23.7%の増となっております。不用額のうちの456万3,683円を下水道事業会計に引き継いでございます。

42ページになりますが、こちら歳入歳出差引残額の461万347円を下水道事業会計に引継ぎさせていただきますところでございます。

事項別明細書によりご説明申し上げます。331ページをお開き願います。歳入でございます。

1款分担金及び負担金の収入済額は、前年度対比62.8%増の674万円となりました。43件の新設分の浄化槽事業分担金でございます。

2款の使用料及び手数料につきましては、収入済額4,553万4,386円で、1項1目浄化槽使用料の現年度分が4,550万3,186円となり、収納率は99.2%となっております。

3款の国庫支出金につきましては、収入済額が462万6,000円、前年度対比34.8%の減となっております。こちら、先ほど申し上げましたとおり、年度間調整により国庫支出金が減額調整されたということでございます。

332ページをお開き願います。4款1項1目特定地域生活排水処理事業費県補助金につきましては、収入済額180万円で、前年度対比105%の増となっております。

5款1項一般会計繰入金につきましては、収入済額1,802万9,000円で、前年度対比11.1%の増となっております。

6款の繰越金は、50万2,712円となりました。

333ページをご覧ください。7款3項雑入は、収入済額99万3,282円で、こちらは消費税還付金でございます。

8款1項1目下水道事業債につきましては、収入済額4,500万円で、設置基数の増加、補助

金の減少に伴い、前年度対比94.8%の増加となっております。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

335ページをお開き願います。1款浄化槽事業費につきましては、支出済額1億194万6,540円で、前年度対比26.8%の増となりました。1目の浄化槽事業総務費につきましては、0.4%の減となっております。総務費のうちの未払金453万4,691円を下水道事業会計に引き継いでございます。336ページをお開き願います。2目浄化槽事業費につきましては、59.2%の増となりました。設置基数の増加等により、工事請負費が増加したことによるものでございます。未払金の2万8,992円を下水道事業会計に引き継いでございます。

2款の公債費の支出済額は、前年度対比7.8%の増、1,666万8,493円となっております。

以上、特別会計3件の決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和元年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 令和元年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

決算書の22ページをお開きください。歳入でございますが、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、諸収入でございます。前年度対比4.0%増の1億6,978万4,862円となりました。調定額、収入済額は同額でございます。

続いて、23ページをご覧ください。歳出でございますが、山形鉄道助成費及び基金積立金合計で、支出済額は前年度対比4.0%増の1億6,978万4,862円となっております。

続きまして、事項別明細書により、主な項目を説明いたします。293ページをお開きください。歳入でございます。

1款1項1目山形鉄道運営助成費負担金につきましては、予算現額6,157万2,000円で、収入済額も同額でございます。長井市を除く県及び1市2町の負担金でございます。前年度と同額でございます。

3款1項1目一般会計繰入金は、予算現額2,242万8,000円で、収入済額も同額でございます。これは、長井市の運営負担分で、前年度と同額でございます。

次の294ページをご覧ください。同じく3款の2項1目基金繰入金でございますが、予算現額は7,657万円、収入済額も同額で、前年度対比3.4%の減でございます。

次に、4款1項1目雑入でございますが、予算現額921万3,000円に対し、調定額、収入済額ともに921万2,047円でございます。これは、前年度の山形鉄道運営助成基金補助金の確定による返納金でございます。

次に、295ページをご覧ください。歳出でございます。

1款1項1目運営助成費でございますが、山形鉄道運営助成基金補助金として予算現額7,657万円、支出済額も同額で、前年度対比3.4%の減でございます。

次に、2款1項1目基金積立金でございますが、予算現額は9,326万3,000円、支出済額は9,321万4,862円で、前年度対比11%の増でございます。

以上が山形鉄道助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和元年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

小林克人健康課長。

○小林克人健康課長 令和元年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書30ページをお開き願います。初めに、歳入でございますが、収入済額合計は前年度対比391万1,552円、10.9%減の3,189万5,877円でございます。収入の内訳といたしましては、療養費交付金、利用料、一般会計繰入金、繰越金及び雑入でございます。

次に、31ページをご覧ください。歳出といたしましては、事業費としての支出済額が前年度対比391万1,985円、11%減の3,179万5,199円でございます。

32ページになりますが、歳入歳出の差引残額10万678円を翌年度に繰り越しさせていただいております。

次に、事項別明細書により、主な項目をご説明申し上げます。305ページをお開き願います。歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は、収入済額1,770万3,249円でございます。前年度に比べ49万8,716円、2.9%の増でございます。

2款1項1目利用料は、収入済額182万9,533円でございます。内訳は、介護保険、医療保険の利用者負担分でございます。こちらは、前年度に比べ27万5,335円、17.7%の増でございます。

3款1項1目一般会計繰入金は、収入済額1,224万円で、前年度に比べ468万9,000円、27.7%の減ございました。

次に、歳出についてご説明を申し上げます。

307ページをご覧ください。1款1項事業費、1目訪問看護事業費でございますが、給料、賃金、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金などございまして、支出済額3,179万5,199円でございます。

以上、令和元年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしく

ご審査の上、ご認定賜りますようお願いを申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和元年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。梅津義徳福祉あんしん課長。

○梅津義徳福祉あんしん課長 令和元年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の34ページをご覧ください。最初に、款ごとの決算額について、歳入からご説明いたします。

1款介護保険料は、調定額6億6,167万8,124円に対し、収入済額6億5,620万779円で、収入済額総額に占める介護保険料の割合、以下各款ごと構成比率と申します、は20.1%、収納率は99.2%となっております。調定額のうち160万863円を不納欠損処分し、収入未済額は387万6,482円となっております。

2款使用料及び手数料は、収入済額9万5,100円でございます。

3款国庫支出金は、収入済額7億9,901万3,450円で、構成比率は24.5%となり、4款支払基金交付金は、収入済額8億3,134万3,000円で、構成比率は25.5%、5款県支出金は、収入済額4億6,017万3,776円で、構成比率は14.1%、6款財産収入は、収入済額1万3,895円でございます。

7款繰入金は、収入済額4億3,664万7,389円で、構成比率は13.4%となり、8款繰越金は、収入済額6,909万2,870円、9款諸収入は、収入済額1,163万8,259円でございます。

35ページの歳入合計は、調定額32億6,969万5,863円に対し、収入済額は前年度比0.5%増の32億6,421万8,518円で、収入率は99.8%となりました。

次に、36ページをご覧ください。歳出でございます。

1款総務費の支出済額は3,050万7,158円で、

支出済額総額に占める総務費の割合、構成比率は0.9%となりました。

2款保険給付費の支出済額は29億7,766万8,194円で、構成比率92.4%となり、3款地域支援事業費の支出済額は1億7,401万4,119円で、構成比率は5.4%、37ページに移りまして、4款基金積立金の支出済額は1万3,895円、5款諸支出金の支出済額は3,997万5,559円、構成比率は1.2%、6款予備費からの支出は、ありませんでした。

歳出合計は、予算現額33億1,831万8,000円に対し、支出済額が前年度比1.4%増の32億2,217万8,925円で、予算執行率は97.1%となりました。

38ページをご覧ください。歳入歳出差引残額4,203万9,593円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

続いて、事項別明細書によりご説明申し上げます。309ページをご覧ください。最初に、歳入でございます。

なお、収入済額を申し上げ、増減につきましては、平成30年度決算額との比較で申し上げますので、よろしく申し上げます。

1款1項介護保険料は、0.3%増の6億5,620万779円となり、第1号被保険者保険料です。

2款1項使用料及び手数料は、収入済額9万5,100円となり、介護保険料の督促手数料で、3款1項国庫負担金は、2.8%減の5億3,905万1,000円となり、介護給付費負担金で、310ページに入りまして、2項国庫補助金は、1目調整交付金が2億40万3,000円、2目地域支援事業交付金が5,399万7,450円、3目介護保険事業費補助金が68万2,000円、4目保険者機能強化推進交付金が475万6,000円、5目介護保険災害臨時特例補助金が12万4,000円で、2項合計では2.9%減の2億5,996万2,450円となり、311ページ、4款1項支払基金交付金は、1目介護給付費交付金が8億372万4,000円、2目地域支援事

業支援交付金が2,761万9,000円で、1項合計で0.8%増の8億3,134万3,000円となり、5款1項県負担金は介護給付費負担金で2.2%増の4億3,534万4,404円となり、2項県補助金は地域支援事業交付金で6.2%減の2,482万9,372円となり、6款1項財産運用収入は、312ページにかけてですが、1万3,895円となり、基金積立金利子収入です。

7款1項一般会計繰入金は、1目介護給付費繰入金が3億7,220万8,461円、2目地域支援事業繰入金が2,483万2,170円、3目その他一般会計繰入金が2,973万2,458円、4目低所得者保険料軽減繰入金が987万4,300円、1項合計では、2.4%増の4億3,664万7,389円となりました。

2項基金繰入金は、ありません。

313ページ、8款1項繰越金は、20.9%増の6,909万2,870円となり、9款1項延滞金、加算金及び過料は、収入済額が1万9,099円となり、第1号被保険者の介護保険料延滞金です。

2項雑入は、11.8%増の1,161万9,160円となり、地域支援事業利用者負担金などがございます。

次に、歳出について申し上げます。315ページをご覧ください。

なお、同様に、支出済額と昨年度の比較で申し上げます。

1款総務費では、1項総務管理費は24.3%減の922万2,256円、2項徴収費は2.8%増の116万1,854円となり、316ページ、3項介護認定審査会費は0.6%減の1,983万6,410円となり、317ページ、4項趣旨普及費は21万138円、5項高齢者福祉推進会議費は7万6,500円となりました。

2款保険給付費、1項介護サービス等諸費は、2.5%増の27億4,433万7,542円となり、要介護認定者が対象の介護サービス等給付費でございます。

318ページ、2項介護予防サービス等諸費は、0.8%減の5,160万2,485円となり、要支援認定

者が対象の介護予防サービス等給付費でございます。

319ページ、3項その他諸費は審査支払手数料で290万4,992円となり、4項高額介護サービス等費は6.5%増の5,186万6,178円となり、利用者負担が高額になった場合に軽減する保険給付です。

320ページ、5項高額医療合算介護サービス等費は28.4%増の862万709円となり、医療及び介護利用者の負担を軽減する措置で、一定の上限を超える額を給付するものです。

6項市町村特別給付費は、支出はございません。

7項特定入所者介護サービス等費は2.2%減の1億1,833万6,288円となり、施設サービスの居住費、食費負担等について、低所得者の軽減分を補填するための給付となります。

3款地域支援事業費では、321ページとなりますが、1項介護予防・生活支援サービス事業費は8.2%減の6,113万8,867円となり、要支援認定者等を支援する事業です。

322ページ、2項一般介護予防事業費は11.8%減の4,499万745円となり、一般高齢者を対象とした事業です。

324ページをご覧ください。3項包括的支援事業・任意事業費は1.1%増の6,776万2,890円となり、高齢者とその家族の相談事業や関連機関との連携事業となります。

ページ飛びまして、328ページをご覧ください。4項その他諸費は12万1,617円となり、審査支払手数料です。

4款基金積立金、1項基金積立金は1万3,895円で、介護給付費準備基金の利子分の積立金です。

329ページ、5款諸支出金、1項償還金及び還付加算金は3,997万5,559円となり、6款予備費の支出は、ございませんでした。

以上が令和元年度長井市介護保険特別会計歳

入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和元年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について。

佐原勝博建設課長。

○佐原勝博建設課長 令和元年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書48ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計は前年度対比4,164万4,901円減の202万2,280円となり、調定額と同様となっております。

次に、49ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は前年度対比4,164万4,901円減の202万2,280円となりました。予算現額に対する執行率は71.6%となっております。

50ページをお開き願います。歳入歳出差引残額はゼロ円となります。

続きまして、事項別明細書によりご説明申し上げます。345ページをお開き願います。歳入につきましては、1款財産収入、1項1目利子及び配当金は380円で、基金運用利子でございます。

2款繰入金、1項1目宅地開発基金繰入金は、202万1,900円でございます。

346ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款1項1目宅地開発総務管理費につきましては、202万2,280円で、宅地開発事業に要した費用といたしまして、報償費、宅地開発事業計画策定業務委託料、宅地開発基金積立金でございます。

以上、令和元年度宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

認第2号 令和元年度長井市水道事業会計決算認定について

議案第80号 令和元年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

○浅野敏明委員長 次に、認第2号 令和元年度長井市水道事業会計決算認定について及び議案第80号 令和元年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての2件について。

蒲生浩美上下水道課長。

○蒲生浩美上下水道課長 認第2号 令和元年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の369ページ、水道の1ページをお開き願います。以降、水道ページで申し上げますので、よろしくお願います。

それでは、決算報告書からご説明申し上げます。こちらは、税込みの記載となっております。

初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益の決算額は、7億1,910万6,098円となりました。支出の第1款水道事業費用の決算額は、5億6,960万1,415円となっております。

水道2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入の決算額は2億7,869万8,000円で、水道3ページに移りまして、支出につきましては、第1款資本的支出の決算額は5億8,696万1,586円となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額、3億826万3,586円につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,679万2,503円、過年度分損益勘定留保資金9,526万5,953円、当年度分損益勘定留

保資金8,620万5,130円、利益剰余金1億円をもって補填させていただいたところでございます。

水道4ページをお開き願います。損益計算書により、経営状況についてご説明申し上げます。こちらは、消費税抜きの金額となっております。

営業収益につきましては、給水収益から他会計繰入金まで合計して6億1,908万6,996円で、前年度対比1.3%の減となりました。営業費用につきましては、浄水及び配給水費から資産減耗費まで合わせて4億8,218万8,660円で、こちらは前年度に比べて2.7%の減となっております。

その結果、営業収益から営業費用を差し引いた営業利益、こちらは前年度対比510万790円、3.9%増の1億3,689万8,336円となったところでございます。

水道5ページをご覧ください。営業外収益につきましては、前年度対比3.1%の増となり、営業外費用につきましては8.4%の減となっております。その結果、経常利益でございますが、前年度対比1,318万2,762円、13.4%増の1億1,167万9,187円となったところでございます。さらに、特別利益、特別損失を合わせた当年度純利益につきましては、前年度より1,259万4,779円、12.9%増の1億1,025万2,444円となり、黒字決算で終了することができました。

また、前年度繰越利益剰余金並びに減債積立金を取り崩し、4条予算の補填財源として使用した、こちらはその他未処分利益剰余金変動額になりますが、こちら1億円を合わせた当年度未処分利益剰余金は2億8,773万8,883円となったところでございます。

水道6ページをお開き願います。剰余金計算書でございます。こちらは、資本金及び剰余金の当年度変動額による年度末の残高計算表となっております。本年度につきましては、利益剰余金から減債積立金を取り崩したことにより、

未処分利益剰余金が増額してございます。また、未処分利益剰余金につきましては、それに当年度純利益を加えたものが年度末の残高となっております。資本合計につきましては、右下の欄になりますが、当年度純利益分増額し、24億9,611万402円となっております。

水道7ページにつきましては、剰余金処分計算書の案でございますが、後ほど議案で説明させていただきます。

水道8ページをお開き願います。貸借対照表でございます。財産の状況でございますが、資産の部につきましては、固定資産では、減価償却などにより既償却相当分が減額されましたが、新規取得資産等により、前年度対比518万5,548円増の64億1,152万4,411円となりました。

水道9ページをご覧ください。流動資産につきましては、現金及び預金の増加等により、前年度対比7,694万801円増の8億365万7,165円となり、資産合計では、前年度対比8,212万6,349円、1.2%増の72億1,518万1,576円となりました。

負債の部でございますが、固定負債につきましては、企業債残高の減少により、前年度対比1,345万8,217円減の32億5,410万746円、また、流動負債につきましては、企業債償還元金、その他未払金等の増加により、前年度対比1,769万9,904円増の3億5,709万4,740円となりました。

水道10ページをお開き願います。繰延収益につきましては、前年度から3,236万7,782円減の11億787万5,688円となり、負債合計で前年度対比2,812万6,095円減の47億1,907万1,174円となっております。

資本の部におきましては、資本金、資本剰余金は前年度から変動ございません。利益剰余金につきましては、当年度純利益分増額し、6億6,503万8,883円となり、資本合計では24億9,611万402円となっております。

なお、資産合計と負債資本合計は同額で一致してございます。

ページを飛びまして、水道33ページをお開き願います。こちらは、キャッシュフロー計算書になってございます。キャッシュフロー計算書につきましては、1会計期間における資金収支の状況を表すものでございまして、損益計算書と貸借対照表をつなぐというような意味合いを持ち、平成26年度から添付を義務づけられているものでございます。

業務活動によるキャッシュフローでは、水道料金収入、浄水費用、業務及び総係費等の営業活動により3億4,598万5,032円を生み出しております。投資活動におきましては、建設改良費、県からの補償金収入等の投資活動で2億7,622万4,569円を使用してございます。財務活動では、企業債の借入れ、企業債の償還等で514万8,454円を使用してございます。その結果、期首の平成31年4月1日時点での資金残高7億136万238円から、令和元年度中に6,461万2,009円増加し、令和元年度末の資金残高は7億6,597万2,247円となりました。この金額につきましては、貸借対照表の流動資産の中の現金及び預金に相当するものでございます。

水道34ページをお開き願います。収益費用明細書につきまして、損益計算書に補足してご説明申し上げます。

1款1項営業収益では、2目の加入金の内訳は備考欄に記載のとおり、新規加入102件、口径変更が29件となっております。4目その他営業収益は、各種手数料、一般会計からの負担金、下水道、農業集落排水処理施設使用料の収納業務の委託料収入等でございます。水道35ページの5目他会計繰入金は、袋地区の下水道污水管布設工事に伴う給水管の布設替え工事に対する下水道事業会計からの補償となっております。

2項の営業外収益の主なものといたしまして、

受取利息やペットボトル水販売収益、当年度償却分の長期前受金戻入益などとなっております。

次に、費用についてご説明申し上げます。

水道36ページをお開き願います。1款1項1目浄水及び配給水費につきましては、職員2名分の人件費のほか、上水道施設運転業務等の委託料、修繕費、動力費が主なものとなっております。水道38ページをお開き願います。3目の業務及び総係費につきましては、職員の人件費のほか、金融機関取扱手数料、負担金などが主なものとなっております。水道39ページの4目減価償却費は、建物、構築物、機械及び装置等の減価償却でございます。5目の資産減耗費につきましては、機械装置、配水管などの固定資産の除却費用となっております。

水道40ページをお開き願います。2項の営業外費用につきましては、企業債などの支払利息及び雑支出となっております。

3項1目過年度損益修正損は、当期水道料金の精算還付金でございます。

水道41ページをご覧願います。資本的収支の明細書についてご説明申し上げます。こちらも税抜きとなっております。

収入でございます。第1款第1項企業債は、配水施設整備事業債となっておりますが、前年度対比104%の増加となっております。主な要因につきましては、道路改良工事に伴う管路布設替え工事や老朽管布設替え工事、機械設備の更新工事に加え、白川橋の添架送水管の布設替えや本町街路整備に伴う配水管の布設替え工事等を行ったことなどによるものでございます。

2項のその他の補償につきましては、本町街路整備に伴う布設替え工事に係る県からの補償となっております。

支出でございます。1款1項建設改良費につきましては、1目事務費は、職員の人件費等で

ございます。水道42ページをお開き願います。
2目の配水施設整備費につきましては、管路布設替え等の工事請負費となっております。3目の資産購入費につきましては、時庭中継ポンプ場の自家発電設備等、機械設備購入費並びに量水器の購入費用となっております。工事の内容、資産購入の内容につきましては、水道15ページから17ページにその概要を記載してございますので、ご覧いただきたいと思ひます。

次に、2項企業債償還金につきましては、記載のとおりとなっております。

以上が水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第80号 令和元年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明申し上げます。

こちら決算書の374ページ、375ページ、水道の6ページと水道の7ページをお開きいただきたいと思ひます。処分の内容でございますが、先ほど決算の概要で説明させていただきました令和元年度の未処分利益剰余金2億8,773万8,883円のうち、1億円を資本金に繰り入れ、1億円を減債積立金に積み立てるというものでございます。残余の8,773万8,883円につきましては、令和2年度へ繰り越しさせていただくものでございます。これによりまして、資本金残高は9億6,398万8,238円に、減債積立金につきましては、3億5,730万円に増額いたすものでございます。

よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 以上で概要の説明が終わりました。

ここで昼食のため、暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前11時49分 休憩

午後1時00分 再開

○浅野敏明委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

令和元年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○浅野敏明委員長 ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

勝見英一郎委員の総括質疑

○浅野敏明委員長 順位1番、議席番号2番、勝見英一郎委員。

○2番 勝見英一郎委員 それでは、早速質問させていただきます。

最初の質問ですが、3款民生費、1項社会福祉費、2目障がい者福祉費、014心身障がい者タクシー料金助成事業について、福祉あんしん課長にお尋ねいたします。

令和元年の予算は、102万2,000円に対し、47万7,400円の支出となっております。この事業は、該当する障がい者にタクシー券を交付するものですが、利用率は57.8%、ちなみに、平成30年度の利用率は72.8%、平成29年度の利用率は73.5%ですので、せっかくの事業が活用されていないと感じるのですが、この点について福祉あんしん課長はどのように捉えておられるのか、お聞かせください。

○浅野敏明委員長 梅津義徳福祉あんしん課長。

○梅津義徳福祉あんしん課長 お答えをいたしま